

登録コード	A2Y01200	開講年度	2026				
授業科目	信州農学概論					担当教員	山田 明義 他
英文授業名	Introduction to Agriculture and Living Sphere in Shinshu Area						竹野 誠記・田中 沙智・中村 浩蔵
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	月曜・3時限	対象学生	2年次生
講義室	農学部30番講義室		授業形態	講義	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー 該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2025Aカリ						
	【2025年度以降カリキュラム対象】1.【教養・基礎学力】 豊かな教養と農学分野における基礎学力が身についている。				信州の農林業、畜産業、食品産業の特性を説明できる		
	【2025年度以降カリキュラム対象】2.【専門性】 農学分野の専門的な学識と技術が身についている。				信州の農林業、畜産業、食品産業の特性と、信州の自然環境との関連性について、論じることができる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、環境共生、健康長寿、防災減災						
(3)全学横断特別教育プログラム	ローカル・イノベーター養成コース、環境マインド実践人材養成コース、ストラテジー・デザイン人材養成コース、ライフクリエイター養成コース						
(4)授業の概要	今日の信州の農業，林業，畜産業，醸造業について，代表的・具体的な事例を中心に解説する．また，伝統的な農林業や食文化，ならびに食品製造の分野，さらに信州の自然環境や災害についても触れる．						
(5)授業計画	< 信州の農林業を取り巻く環境 > 第1回（4/13）：アルプスと自然：山岳・農地・都市：城田 第2回（4/20）：農山村の獣害とその対策：池田 第3回（4/27）：山地の防災：信州の土砂災害環境と対策：堤 < 森林資源とその利用 > 第4回（5/1）：信州の林業の歴史と現状：三木 第5回（5/11）：信州の建材・木質バイオマスの活用：未定 第6回（5/18）：信州の野生きのこ資源の利用：山田 第7回（5/25）：信州のきのこ栽培の歴史と現状：山田 < 農業生産とその特性 > 第8回（6/1）：信州の野菜：松島 第9回（6/8）：信州の作物：松浦 第10回（6/15）：信州の果樹：大迫 第11回（6/22）：信州の畜産：上野 第12回（6/29）：信州の農業経営：若林 < 農産物の加工と利用 > 第13回（7/6）：信州の伝統的食文化：田中 第14回（7/13）：信州の醸造：竹野 第15回（7/27）：信州の食材とその応用：中村 注：15回：授業アンケートを実施します．						
(6)自主学習の指針	事前事後学習を通じて，身近な農環境問題に対して日常的に注意を払うように心がけてください．						
(7)成績評価の基準	秀：授業の達成目標水準から見て卓越している．（90点以上） 優：授業の達成目標水準よりかなり上にある．（80～89点） 良：授業の達成目標水準よりやや上にある．（70～79点） 可：授業の達成目標水準にある．（60～69点） 不可： 授業の達成目標水準にない．（59点以下）						
(8)事前事後学習の内容	事前学習：授業計画に挙げられたキーワードについて予め下調べを行い授業に臨むこと． 事後学習：授業ごとに設定される課題をレポートにまとめる．						
(9)テストやレポートの予定	授業ごとに課題レポートまたは小テスト等を課します． 期末テストは実施しません．						
(10)成績評価の方法	授業ごとに課す課題レポートまたは小テスト等の累計100％で評価します．						
(11)質問、相談への対応および連絡先	各担当教員へ各自で問い合わせてください．						
(12)履修上の注意	期末テストは課さないなので，毎回出席を心がけてください．						
【教科書】	指定しない．						
【参考書】	授業の中で随時紹介する．						